

# 令和8年度 学校経営方針

赤穂市立赤穂西小学校

創立49周年（令和8年5月28日）

## I スローガン

今日も来てよかった 明日も行きたい 通わせたい 赤穂西小学校

## II 学校教育目標

みんなで創る『楽しい』学校  
～響き合う心、広がる学び、高まる活力～

## III めざす児童像・教師像・学校像

### めざす児童像＜「主役」として輝く子＞

○ かしこく

基礎・基本を大切にし、「分かった・できた！」という学びの楽しさを積み重ねる子

○ やさしく

児童総会（学園パラダイス）等を通じ、自らの願いを言葉にし、他者と響き合いながら「やってみたい」を形にする子

○ たくましく

自分の体と心を大切にし、明日への意欲を持って粘り強く挑戦し続ける子

### めざす教師像＜「伴走者」として楽しむ教師＞

○ 児童一人一人を大切にし、些細な変化や願いに気付く

○ 児童の実態に応じ、夢中になれる学びの場をデザインできる

○ 誠意を持ち、信頼される「チーム赤穂西小」の一員となる

### めざす学校像＜「居場所と出番」がある学校＞

○ 全員が学ぶ楽しさ、「分かった・できた！」を実感できる

○ 人権尊重を基盤とし、いじめ見逃しゼロの安心がある

○ ふるさとを愛し、家庭・地域と共に歩む

#### IV 重点取組（大切にしたい3つの柱）

##### ① 「学ぶ楽しさ」を支える確かな学力（知）

###### ○スモールステップの徹底

一人一人の実態を把握し、個に応じた細やかな手立てで自信を育む

###### ○ICTの日常活用

個別最適な学びを基盤とし、主体的・対話的で深い学びへと導く

###### ○安心の学習環境

心理的安全性を高め、不安を取り除き集中できる環境を整える

##### ② 「創る楽しさ」を育む特別活動・人権教育（徳）

###### ○児童総会（学園パラダイス）の進化

児童総会を軸に、自分たちの生活を自分たちで決める「自治的活動」を推進する

###### ○子どもたちが主役の行事

運動会や音楽会等で、高学年が企画・運営の中心的な役割を果たし、高い達成感を味わわせる

###### ○自発的な動機付けを育む環境

日々の「やってみたい」という小さな挑戦を、自らの「夢や志」を育む確かな原動力へと繋げ、主体的に未来を切り拓く力を養います

##### ③ 「つながる楽しさ」を創る安心・安全と地域連携（体）

###### ○命を守る防災教育

自ら命を守る能力を育て、震災の教訓から助け合いの心を培う

###### ○コミュニティ・スクールの促進

地域の自然や伝統を教育に活かし、地域全体を「学びの場」とする

###### ○『一歩』踏み込むチーム支援～いじめ見逃しゼロへ～

早期発見・早期対応でいじめのサインを見逃さない

#### V 「通わせたい」を創る みんなで支え、応援したくなる学校づくり

###### ○「歩みの共有」

行事の「成功」という結果だけでなく、子どもたちが悩み、挑戦する「物語（ストーリー）」を積極的に発信し、保護者の共感と安心を生む

###### ○「共創パートナーシップ」

地域の大人を「教える人」としてだけでなく、児童の願いを共に叶える「共創のパートナー」として迎え、大人も楽しい学校づくりを推進する

## VI 重点アクション：『楽しい』を支える5つの挑戦

### ○【知】自信を育むステップアップ

15分に一度は「分かった！」と言えるスモールステップを授業内に仕掛け、成功体験を連鎖させる。

### ○【徳】主体性を育む「自治的活動」の推進

学校生活において、子どもたちが「決める」場面をこれまで以上に大切にする。教師は黒子（アドバイザー）に徹する。

### ○【スピード感のある温かな支援】

待つのではなく、教師が児童の輪に飛び込み、些細な表情から「声なき声」や「SOS」を先回りして拾い上げる。

### ○【自分たちの手で守る安全】

安全を「禁止」で守るのではなく、児童総会（学園パラダイス）での議論を通じて「自分たちで守るルール」へと進化させる

### ○【ストーリー発信】

教育活動の「一生懸命な足跡」を公開し、保護者・地域を評価者から「心強い応援団」へと変える